

2021年3月期 決算補足説明資料（サマリー版）

2021年5月14日

2021年3月期 連結会計期間実績

(百万円)

セグメント別実績		2020年3月期 累計実績	2021年3月期 累計実績	前年同期比
売上高	合計	11,229	13,217	1,988
	エネルギー関連事業	6,142	7,361	1,218
	自動車関連事業	3,834	3,945	111
	金融関連事業	750	1,396	646
	感染症対策関連事業	—	365	365
	その他事業	544	288	▲255
	セグメント調整額	▲42	▲139	▲97
営業損益	合計	▲1,198	▲2,888	▲1,690
	エネルギー関連事業	449	▲2,148	▲2,598
	自動車関連事業	22	19	▲3
	金融関連事業	▲1,033	▲260	772
	感染症対策関連事業	—	109	109
	その他事業	31	59	27
	セグメント調整額	▲669	▲667	1
経常利益		▲1,231	▲2,893	▲1,661
親会社株主に帰属する四半期純利益		▲5,173	▲2,974	2,198

※2021年3月期第3四半期よりセグメント変更のため、これまで旅行関連事業として計上されていた損益は「その他事業」に含まれております。

2021年1月～3月においてはすべてのセグメントで黒字化を達成しました！

* エネルギー関連事業のインバランスによる一時的損失を除く

(百万円)

		2020年3月期（前期）				2021年3月期（今期）			
		4～6月 (1Q)	7～9月 (2Q)	10～12月 (3Q)	1～3月 (4Q)	4～6月 (1Q)	7～9月 (2Q)	10～12月 (3Q)	1～3月 (4Q)
売上高	合計	3,009	3,190	2,435	2,593	2,178	2,640	3,415	4,982
	エネルギー関連事業	1,234	1,704	1,516	1,687	1,291	1,825	1,628	2,615
	自動車関連事業	1,100	972	868	893	825	801	1,133	1,184
	金融関連事業	206	497	41	5	65	24	502	803
	感染症対策関連事業	—	—	—	—	—	—	164	200
	旅行関連事業	492	6	0	0	0	12	—	—
	その他	11	10	10	13	15	15	20	224
	セグメント調整額	▲35	—	0	▲6	▲19	▲39	▲34	▲46
営業損益	合計	▲408	42	▲354	▲477	▲325	▲421	▲157	▲1,984
	エネルギー関連事業	79	139	148	80	152	131	▲134	404
	自動車関連事業	6	10	4	1	6	7	4	0
	金融関連事業	▲321	43	▲354	▲400	▲320	▲407	100	367
	感染症対策関連事業	—	—	—	—	—	—	20	88
	旅行関連事業	9	▲2	▲10	▲9	▲9	▲8	—	—
	その他	11	10	10	13	15	15	10	36
	インバランス損失								▲2,701
セグメント調整額	▲193	▲159	▲153	▲162	▲169	▲158	▲158	▲180	
経常利益	▲421	42	▲350	▲501	▲328	▲419	▲164	▲1,979	
特別利益	—	84	0	6	61	0	—	24	
特別損失	2	3,711	33	277	9	82	14	47	
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲436	▲3,596	▲399	▲741	▲289	▲518	▲161	▲2,005	

エネルギー関連事業における直近3か月の損益について

JEPXにおける電力取引価格の異常高騰により、インバランス料金（※）の負担が一時的に発生
当該増加分を除けばエネルギー関連事業としては**第4四半期にて4億円超の収益化を実現**

インバランス料金とは

- 接続供給等において計画電力量に対し同時同量を達成できない場合に発生する差分（インバランス）に対する料金のこと。
- インバランス料金の単価は一般送配電事業託送供給等約款に基づきJEPXにおける市場価格に連動して算出されます

エネルギー関連事業4Q（3か月）PL比較

（百万円）

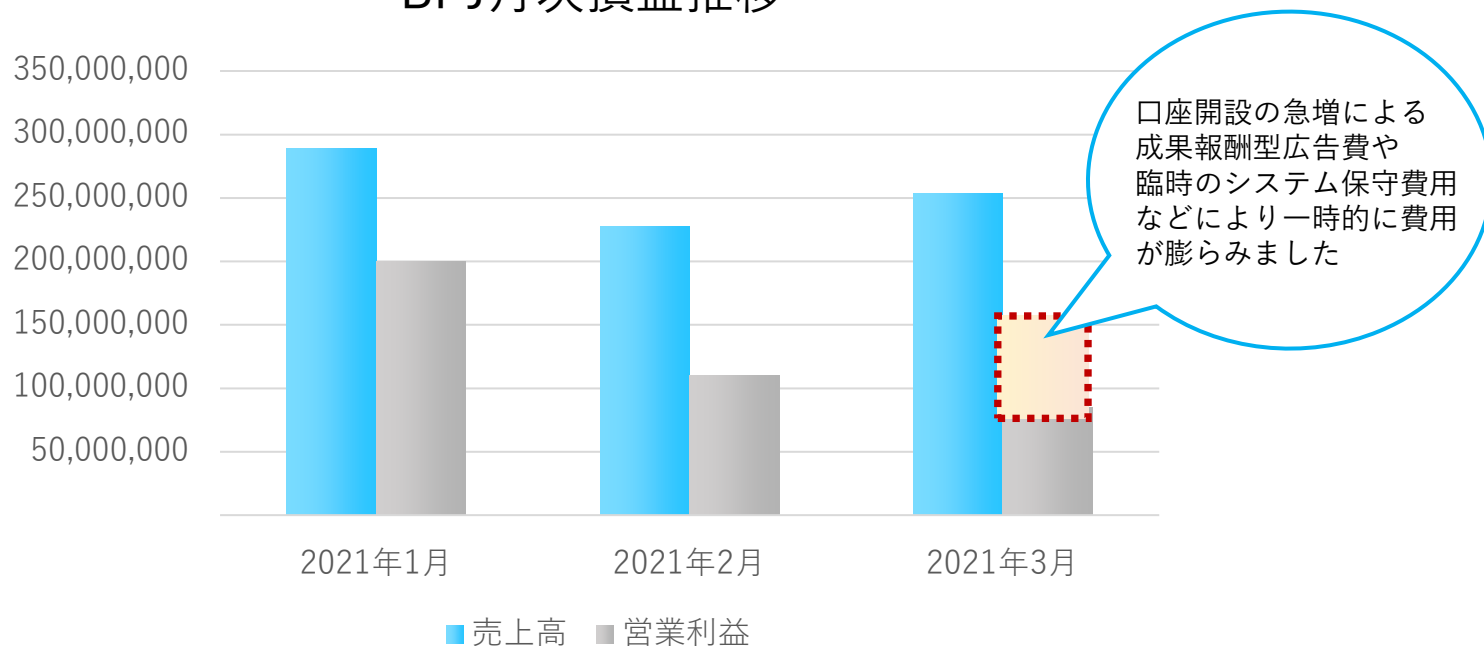
	インバランス料金を含む	インバランス料金を含まない
売上高	2,615	2,615
売上原価	4,681	1,979
売上総利益	▲2,066	635
販売費及び一般管理費	231	231
営業損益	▲2,297	404

JEPX価格高騰による
インバランス料金 約27億円

JEPX価格高騰による費用増加分は
複数年に渡り需要家から回収

第4四半期も安定的な収益化を実現。3月度は販売促進等を強化したため一時的に費用が増加するも、引き続き安定的な収益化を実現していきます

BPJ月次損益推移



	2021年3月期第4四半期		
	1月	2月	3月
売上高	289	227	253
営業損益	200	110	84

連結貸借対照表推移

(百万円)

		2020年3月31日現在	2021年3月31日現在	増減
資産の部	現金及び預金	2,777	2,895	118
	売掛金	944	1,516	571
	商品	341	264	▲76
	仕掛販売用不動産	116	—	▲116
	利用者暗号資産	7,306	31,865	24,558
	自己保有暗号資産	432	3,176	2,743
	預託金	—	3,890	3,890
	差入保証金	282	743	460
	その他	537	832	295
	流動資産計	12,739	45,184	32,445
	固定資産計	1,519	1,513	▲6
	資産合計	14,259	46,697	32,438
負債の部	買掛金	268	3,041	2,772
	預り金	1,386	3,744	2,357
	預り暗号資産	7,306	31,865	24,558
	借入暗号資産	569	1,844	1,274
	その他	856	1,880	1,023
	負債合計	10,388	42,375	31,987
純資産の部	3,870	4,322	451	
負債・純資産合計	14,259	46,697	32,438	

※「自己保有暗号資産」には差入保証暗号資産が含まれております。

業績予想

	通期
売上高	214.1億円
営業利益	26.0億円

*本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

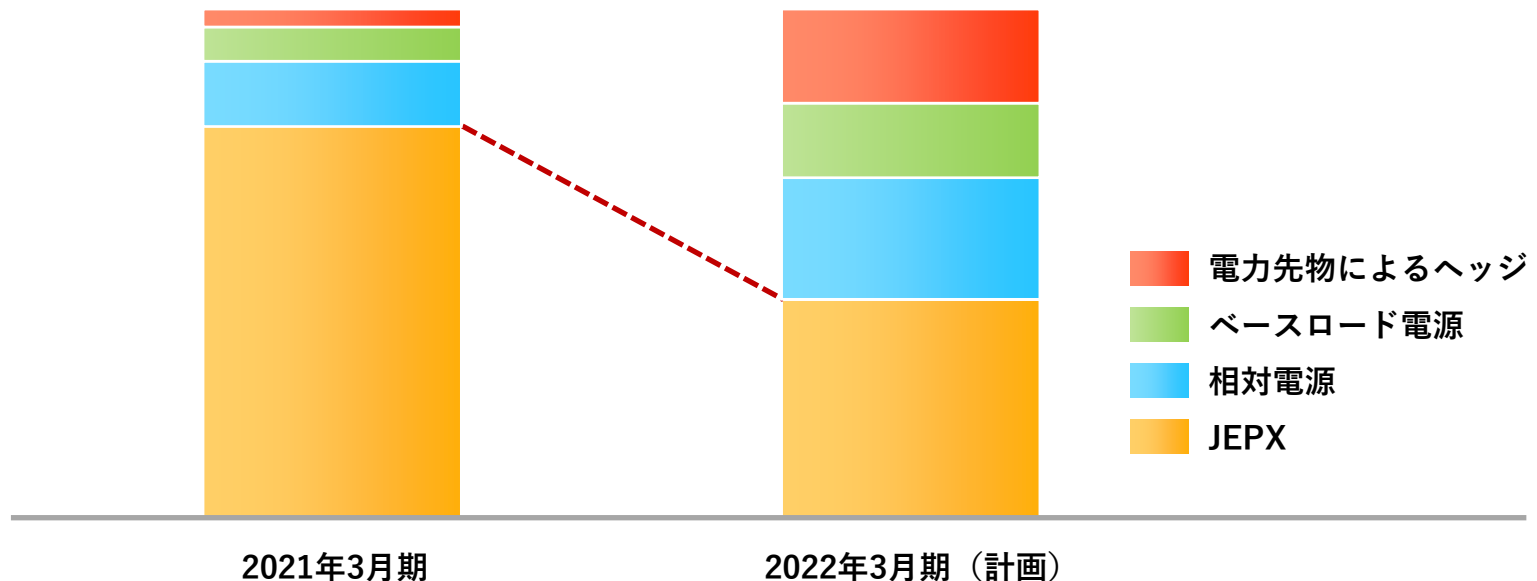
2022年3月期業績予想_セグメント別

(百万円)

セグメント別 業績予想		通 期
売上高	合計	21,410
	エネルギー事業	12,460
	レジリエンス事業	2,533
	自動車事業	3,000
	金融関連事業	3,170
	その他事業	246
営業損益	合計	2,605
	エネルギー事業	902
	レジリエンス事業	635
	自動車事業	19
	金融関連事業	1,732
	その他事業	37
	調整額	▲722



今後のJEPX価格高騰の影響を最小限にするためにJEPX割合を抑制しながら、低価格・環境価値の高い電源構成を備えて電力小売事業を展開してまいります。



- 2020年冬季のJEPX市場価格高騰を踏まえ、相対電源比率を増加
- 電力先物取引を活用し、JEPXスポット価格を固定化
- ベースロード電源も各エリアで調達し、低圧需要家に供給



低圧市場本格参入後、低圧需要家の契約口数は**1万口を突破**しました

低圧需要家獲得状況推移

■ 契約口数



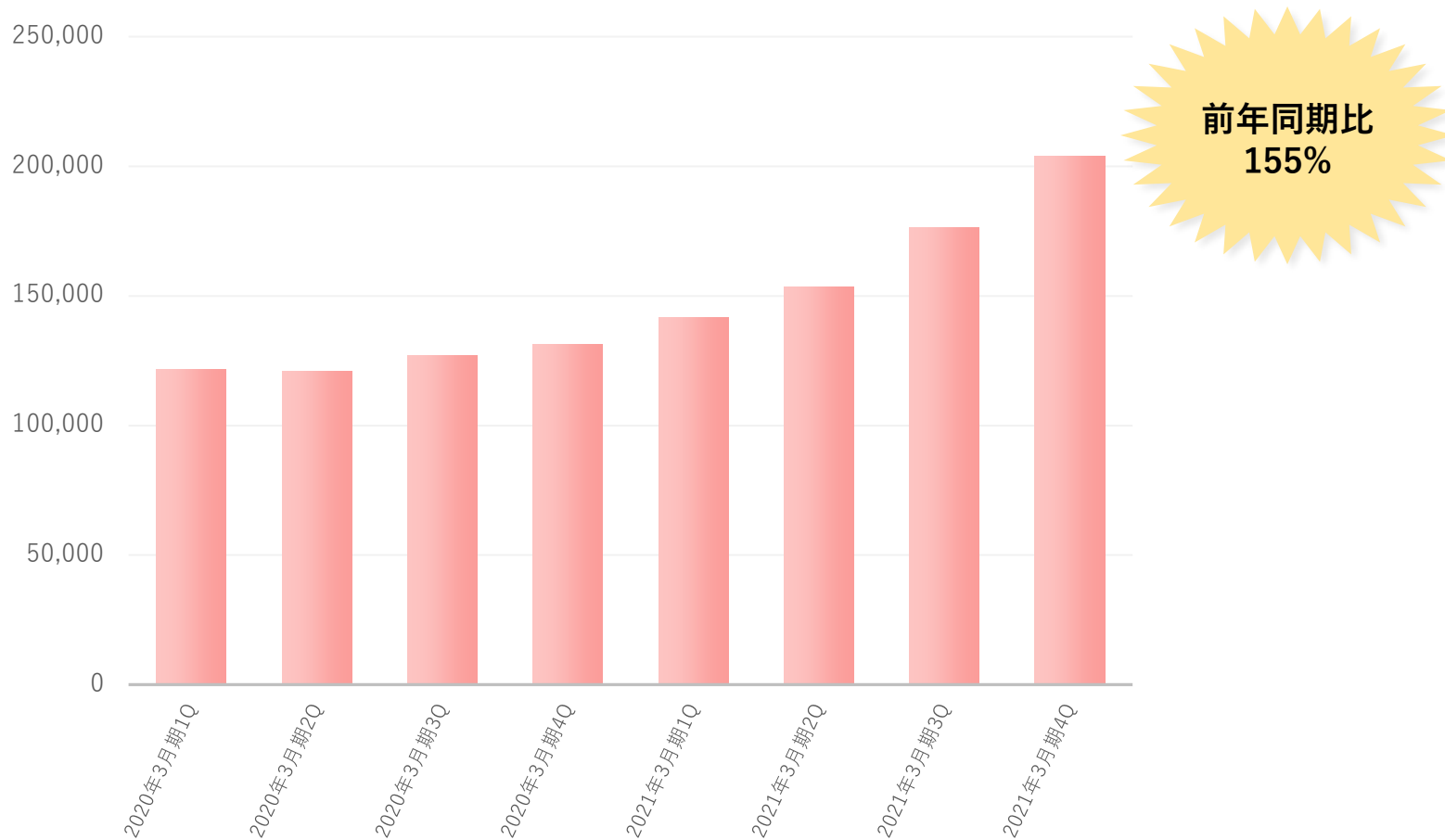
■ 使用電力量





電力卸価格高騰についても適切に対応をした結果として、
高压需要家の契約口数も第4四半期においても増やすことができました

高压需要家獲得状況推移



BPJ単体において営業損益改善へ
2021年3月期下期において黒字化達成しました

2021年3月期下期（6か月）

売上高	1,241
販管費	728
営業利益	512

(百万円)

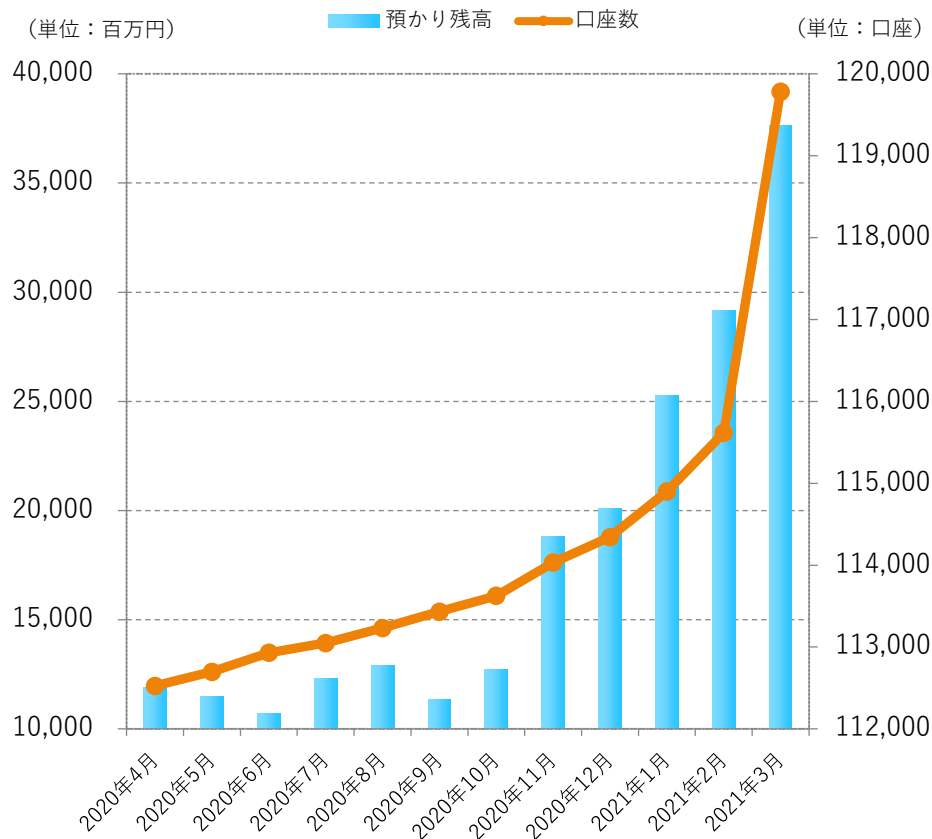
黒字化達成の主な原因

- **新システムの稼働**
→ 2020年7月31日にシステムをリニューアル。
収益獲得に向け新たなシステムを構築。
- **継続的な取引システム改善**
→ マーケット分析を行い、新しいシステムにて、
プライシングやカバー処理の改善を継続的に実施。
- **市場環境の好転**
→ ビットコインの価格が史上最高値を更新するなど
市場活況
- **コスト削減**
→ 自動化・運用効率改善による販管費の削減
- **新規暗号資産の取扱い**
→ TRX（トロン）などの取扱い開始



顧客預かり資産残高は大幅に増加し、370億円超へ (※)
 今後も積極的なマーケティングを展開

預かり資産残高および口座数の推移



※顧客預かり資産残高にはレンディング分を含みます。

顧客預かり資産残高

- 前年同期末比 **402.2%**
 2020年3月期末 9,362百万円
 → 2021年3月期末 37,657百万円
- 前四半期末比 **187.4%**
 2021年3月期第3Q 20,093百万円
 → 2021年3月期第4Q 37,657百万円

顧客口座数

3月17日から新規暗号資産TRX（トロン）を取扱ったことにより口座数が急増！
 3月単月で4,166口座増え、3月末時点で119,783口座となる

- ① 本資料に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。
その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。